

平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月8日

上場会社名 株式会社 幻冬舎

上場取引所 大

コード番号 7843 URL <http://www.gentosha.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼社長執行役員 (氏名) 見城 徹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員 (氏名) 久保田 貴幸

TEL 03-5411-6250

四半期報告書提出予定日 平成23年2月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	9,490	1.4	1,470	34.8	1,495	33.8	773	26.1
22年3月期第3四半期	9,359	11.5	1,091	20.2	1,117	16.7	613	109.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	28,251.68	—
22年3月期第3四半期	21,201.53	21,136.26

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	15,778	10,854	66.2	380,420.73
22年3月期	15,099	10,154	64.9	358,101.48

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 10,442百万円 22年3月期 9,794百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	5,000.00	5,000.00
23年3月期	—	0.00	—		
23年3月期 (予想)				5,000.00	5,000.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,300	△6.6	1,600	△4.6	1,600	△7.9	790	△15.4	28,818.44

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】3ページ「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無
新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）、
(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有
(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 無
(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年3月期3Q	36,000株	22年3月期	36,000株
② 期末自己株式数	23年3月期3Q	8,551株	22年3月期	8,650株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	23年3月期3Q	27,389株	22年3月期3Q	28,950株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、【添付資料】3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	11
(1) 生産、受注及び販売の状況	11
(2) その他	13

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(4月～12月)におけるわが国経済は、新興国向けの輸出や生産の増加を受けて企業収益が改善する等回復基調となりましたが、昨年の秋以降は円高の長期化、輸出や生産の減少等により回復のペースが鈍化したしました。

出版業界では、メディアの多様化等により市場が縮小傾向にあり、当第3四半期連結累計期間の出版物(書籍・雑誌合計)の推定販売金額が、前年同期を3.2%下回る1兆3,496億円となる等、依然として厳しい状況が続いております(社団法人全国出版協会・出版科学研究所調べ)。

このような環境の中、当社グループ(当社及び連結子会社4社)は、出版及びその周辺分野に創業以来培ってきた独自の経営ノウハウを集約し、グループ事業基盤の強化・拡充を図ってまいりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

① 書籍事業

(単行本)

当第3四半期連結累計期間は154点(前第3四半期連結累計期間は142点)を刊行いたしました。当第3四半期連結累計期間に刊行した10万部以上のヒット作品は、「日本経済の真実」(28万部)、「シンプルに生きる」(21.5万部)、「プラチナデータ」(21万部)等、5点(同4点)となりました。

(文庫本)

当第3四半期連結累計期間は148点(前第3四半期連結累計期間は138点)を刊行いたしました。当第3四半期連結累計期間に刊行した10万部以上のヒット作品は、「阪急電車」(53万部)、「ハナミズキ」(32万部)等、11点(同7点)となりました。

(新書)

当第3四半期連結累計期間は36点(前第3四半期連結累計期間は34点)を刊行いたしました。当第3四半期連結累計期間に刊行した10万部以上のヒット作品は、「宇宙は何でできているのか」(22万部)の1点(同4点)となりました。

(雑誌)

男性誌「ゲート」及び女性誌「ジンジャー」の強化・育成、文芸誌「パピルス」の更なる内容の充実に取り組みしました。

これらの結果、売上高は7,029百万円、セグメント利益は1,113百万円となりました。

② コミックス事業

コミックス(単行本)190点(前第3四半期連結累計期間は221点)を刊行いたしました。

これらの結果、売上高は1,421百万円、セグメント利益は156百万円となりました。

③ コーポレート・コミュニケーション事業

企業ブランディング書籍37点(前第3四半期連結累計期間は34点)を刊行し、会社案内、事業報告書等PR・IRツール15点(同34点)を制作いたしました。

これらの結果、売上高は599百万円、セグメント利益は225百万円となりました。

④ 個人出版事業

個人出版書籍89点(前第3四半期連結累計期間は98点)を刊行いたしました。

これらの結果、売上高は298百万円、セグメント利益は18百万円となりました。

⑤ その他の事業

連結子会社の株式会社幻冬舎エデュケーションが、教育関連出版物、知育玩具等20点(前第3四半期連結累計期間は51点)を制作・販売いたしました。

これらの結果、売上高は141百万円、セグメント損失は18百万円となりました。

全体といたしましては、主として書籍事業において刊行点数が増加し、また、文庫本の重版(増刷)が好調に推移したことにより、増収増益となりました。

以上により、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高9,490百万円(前第3四半期連結累計期間比1.4%増)、営業利益は1,470百万円(同34.8%増)、経常利益は1,495百万円(同33.8%増)、四半期純利益は773百万円(同26.1%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 財政状態の変動状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は15,778百万円（前連結会計年度末比4.5%増）となりました。

流動資産は13,046百万円（同8.6%増）、固定資産は2,731百万円（同11.5%減）となりました。

流動資産の変動の主な要因は、現金及び預金757百万円の増加（同20.4%増）、受取手形及び売掛金372百万円の増加（同6.5%増）等です。

固定資産の変動の主な要因は、投資その他の資産458百万円の減少（同32.6%減）等です。

負債は、未払法人税等210百万円の増加（同90.7%増）等がありましたが、支払手形及び買掛金82百万円の減少（同3.3%減）、賞与引当金73百万円の減少（同46.4%減）、返品調整引当金44百万円の減少（同7.9%減）等が主な要因となり、前連結会計年度末に比べ21百万円減少（同0.4%減）し、4,923百万円となりました。

純資産は、利益剰余金637百万円の増加（同7.5%増）等が主な要因となり、前連結会計年度末に比べ700百万円増加（同6.9%増）し、10,854百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の期末残高は4,868百万円（前連結会計年度末比757百万円増）となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、売上債権の増加額372百万円、法人税等の支払額475百万円等がありましたが、税金等調整前四半期純利益1,492百万円等により、410百万円（前年同期間は345百万円の支出）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は、有形固定資産の取得による支出153百万円等がありましたが、有価証券の償還による収入300百万円、投資有価証券の売却による収入300百万円等により、475百万円（前年同期間は71百万円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用された資金は、配当金の支払額135百万円等により、127百万円（前年同期間は442百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の見通しにつきましては、平成22年10月19日に公表いたしました通期の業績予想から変更はございません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1. 簡便な会計処理

該当事項はありません。

2. 特有の会計処理

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,463,413	3,705,817
受取手形及び売掛金	6,075,116	5,702,429
有価証券	609,218	704,996
商品及び製品	1,056,410	979,507
仕掛品	315,466	412,912
原材料及び貯蔵品	44,900	44,092
繰延税金資産	354,478	349,961
その他	131,011	121,149
貸倒引当金	△3,526	△8,647
流動資産合計	13,046,489	12,012,219
固定資産		
有形固定資産	1,770,449	1,658,526
無形固定資産	14,780	23,246
投資その他の資産	946,752	1,405,328
固定資産合計	2,731,982	3,087,101
資産合計	15,778,472	15,099,320
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,447,005	2,529,689
未払法人税等	443,091	232,394
賞与引当金	85,256	158,999
役員賞与引当金	100,500	134,000
返品調整引当金	514,954	559,214
その他	827,026	841,499
流動負債合計	4,417,833	4,455,796
固定負債		
退職給付引当金	136,134	120,825
役員退職慰労引当金	369,601	368,010
固定負債合計	505,736	488,835
負債合計	4,923,570	4,944,631

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	335,910	335,910
資本剰余金	2,796,221	2,808,856
利益剰余金	9,110,393	8,473,355
自己株式	△1,825,413	△1,846,547
株主資本合計	10,417,111	9,771,574
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	25,056	22,501
評価・換算差額等合計	25,056	22,501
新株予約権	—	145
少数株主持分	412,733	360,468
純資産合計	10,854,901	10,154,689
負債純資産合計	15,778,472	15,099,320

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
売上高	9,359,903	9,490,494
売上原価	5,993,715	5,878,166
売上総利益	3,366,187	3,612,328
返品調整引当金繰入額	112,042	—
返品調整引当金戻入額	—	44,260
差引売上総利益	3,254,145	3,656,588
販売費及び一般管理費	2,162,895	2,186,074
営業利益	1,091,249	1,470,514
営業外収益		
受取利息	2,276	12,525
受取配当金	1,720	2,362
保険満期戻戻金	6,633	2,434
保険解約戻戻金	2,633	1,199
匿名組合投資利益	7,602	26,370
その他	8,780	13,974
営業外収益合計	29,648	58,866
営業外費用		
自己株式取得費用	510	—
公開買付関連費用	—	27,620
為替差損	2,733	6,049
その他	151	212
営業外費用合計	3,395	33,882
経常利益	1,117,502	1,495,498
特別利益		
貸倒引当金戻入額	3,913	—
新株予約権戻入益	12	61
会員権売却益	1,800	—
投資有価証券売却益	49,201	—
固定資産売却益	—	1,295
特別利益合計	54,927	1,357
特別損失		
固定資産除却損	16	90
投資有価証券評価損	9,135	3,773
投資有価証券売却損	28	—
特別損失合計	9,180	3,864
税金等調整前四半期純利益	1,163,249	1,492,991
法人税等	502,016	666,938
少数株主損益調整前四半期純利益	—	826,053
少数株主利益	47,436	52,264
四半期純利益	613,796	773,788

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,163,249	1,492,991
減価償却費	49,415	47,214
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	6,482	2,621
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△76,924	△73,742
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,250	△33,500
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	112,042	△44,260
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	13,251	15,308
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	21,030	1,591
受取利息及び受取配当金	△3,997	△14,888
為替差損益 (△は益)	2,733	5,893
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△1,295
固定資産除却損	—	90
投資有価証券売却損益 (△は益)	△49,172	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	9,135	3,773
会員権売却損益 (△は益)	△1,800	—
映画製作出資金の増減額 (△は増加)	6,559	△21,955
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,572,269	△372,686
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△20,627	19,734
仕入債務の増減額 (△は減少)	396,431	△63,506
長期未収入金の増減額 (△は増加)	3,913	—
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	9,273	6,788
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	△2,611	△85,049
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△32,706	△14,368
その他	513	△61
小計	35,174	870,694
利息及び配当金の受取額	3,997	14,888
法人税等の支払額	△384,996	△475,393
営業活動によるキャッシュ・フロー	△345,824	410,189
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△300,000	—
有価証券の償還による収入	298,500	300,000
有形固定資産の取得による支出	△12,991	△153,312
有形固定資産の売却による収入	—	4,269
無形固定資産の取得による支出	△4,492	△424
会員権の取得による支出	△220	△11,578
会員権の売却による収入	1,800	—
投資有価証券の取得による支出	△201,000	—
投資有価証券の売却による収入	142,627	300,000
匿名組合出資金の払戻による収入	4,308	36,289

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー	△71,468	475,243
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△300,066	—
配当金の支払額	△145,355	△135,952
その他	2,550	8,415
財務活動によるキャッシュ・フロー	△442,871	△127,537
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△77
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△860,164	757,817
現金及び現金同等物の期首残高	3,039,314	4,110,814
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,179,150	4,868,632

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至平成21年12月31日）

	書籍事業 (千円)	コミック ス事業 (千円)	コーポレート・ コミュニケーション 事業 (千円)	個人出版 事業 (千円)	その他の 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高								
(1) 外部顧客 に対する 売上高	6,619,500	1,501,979	606,745	298,252	333,426	9,359,903	-	9,359,903
(2) セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	29,770	3	9,771	541	40	40,126	(40,126)	-
計	6,649,270	1,501,983	616,517	298,793	333,466	9,400,030	(40,126)	9,359,903
営業利益	724,706	95,391	210,913	20,591	39,460	1,091,063	186	1,091,249

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品等

事業区分	主要製品等
書籍事業	単行本、文庫本、新書、雑誌
コミックス事業	コミック誌、コミックス
コーポレート・コミュニケーション事業	企業出版物
個人出版事業	個人出版物
その他の事業	教育関連出版物、玩具等

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至平成21年12月31日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至平成21年12月31日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品の性質、販売方法及び顧客の種類により「書籍事業」、「コミックス事業」、「コーポレート・コミュニケーション事業」、「個人出版事業」の4つを報告セグメントとしております。

「書籍事業」は書籍及び雑誌の発行、販売を行っております。「コミックス事業」はコミックス誌及びコミックスの発行を行っております。「コーポレート・コミュニケーション事業」は企業出版物の企画、制作を行っております。「個人出版事業」は、個人出版物の企画、制作、販売等を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント					その他	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	書籍	コミックス	コーポレート・ コミュニケーション	個人出版	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	7,029,633	1,421,480	599,224	298,340	9,348,677	141,816	9,490,494	—	9,490,494
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	27,093	240	8,760	5,136	41,231	311	41,542	△41,542	—
計	7,056,727	1,421,720	607,984	303,477	9,389,909	142,128	9,532,037	△41,542	9,490,494
セグメント利益 又は損失 (△)	1,113,384	156,531	225,435	18,489	1,513,840	△18,438	1,495,402	96	1,495,498

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、教育出版・玩具事業であります。

2. セグメント利益の調整額は棚卸資産の調整額96千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第3四半期連結会計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結会計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日)	前年同四半期比 (%)
書籍 (千円)	1,789,649	—
コミックス (千円)	390,765	—
コーポレート・コミュニケーション (千円)	98,047	—
個人出版 (千円)	121,235	—
報告セグメント計 (千円)	2,399,698	—
その他 (千円)	70,307	—
合計 (千円)	2,470,005	—

- (注) 1. 金額は販売価格によっており、セグメント間の内部振替前の数値によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注状況

当第3四半期連結会計期間における受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同四半期比 (%)
コーポレート・コミュニケーション	222,993	—	538,420	—
個人出版	85,009	—	184,003	—
合計	308,003	—	722,423	—

- (注) 1. セグメント間の取引については、相殺消去しております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
3. 当社グループは、コーポレート・コミュニケーション事業及び個人出版事業の一部を除いては見込生産を行っているため、上記以外については該当事項はありません。

③販売実績

当第3四半期連結会計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結会計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日)	前年同四半期比 (%)
書籍 (千円)	2,047,552	—
コミックス (千円)	404,288	—
コーポレート・コミュニケーション (千円)	98,218	—
個人出版 (千円)	117,213	—
報告セグメント計 (千円)	2,667,272	—
その他 (千円)	89,500	—
合計 (千円)	2,756,772	—

(注) 1. セグメント間の取引については、相殺消去しております。

2. 前第3四半期連結会計期間及び当第3四半期連結会計期間における主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第3四半期連結会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)		当第3四半期連結会計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日)	
	金額 (千円)	割合 (%)	金額 (千円)	割合 (%)
日本出版販売株式会社	1,294,109	38.4	965,844	35.0
株式会社トーハン	965,321	28.6	678,872	24.6

3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) その他

株式会社TKホールディングスによる当社普通株式及び当社新株引受権に対する公開買付けについて

当社は、平成22年10月29日開催の当社取締役会において、マネジメント・バイアウト(MBO)の一環として行われる株式会社TKホールディングス(以下「公開買付者」といいます。)による当社普通株式及び当社新株引受権に対する公開買付け(以下「本公開買付け」といいます。)に賛同し、かつ、当社の株主の皆様に対し、本公開買付けに応募することを勧める旨、及び当社新株引受権について本公開買付けに応募するか否かは当社新株引受権の所有者の皆様のご判断に委ねる旨を決議し、平成22年11月1日に金融商品取引法第27条の10に基づく意見表明報告書を提出しております。

また、公開買付者が、本公開買付けの普通株式の買付価格及び買付予定数の下限に係る買付条件等の変更について発表したことを受け、平成22年12月13日開催の当社取締役会において、本公開買付けに賛同し、かつ、当社の株主の皆様に対し、本公開買付けに応募することを勧める旨、及び当社新株引受権について本公開買付けに応募するか否かは当社新株引受権の所有者の皆様のご判断に委ねる旨の意見を維持することを決議し、平成22年12月13日に金融商品取引法第27条の10第8項において準用する同法第27条の8第2項に基づく意見表明報告書の訂正報告書を提出しております。

本公開買付けは平成22年12月28日をもって終了し、当社は、公開買付者より、本公開買付けの結果について、15,968株の応募があった旨の報告を受けました。

この結果、公開買付者の当社の総株主の議決権に対する所有割合が50%超となり、公開買付者は新たに当社の親会社及び主要株主である筆頭株主に該当することとなりましたので、当社は、平成23年1月4日に、金融商品取引法第24条の5第4項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第3号及び第4号の各規定に基づく臨時報告書を提出しております。

当社は、平成23年1月20日開催の取締役会において、種類株式発行に係る定款一部変更、全部取得条項(会社法第108条第1項第7号に規定する事項についての定めをいいます。以下同じです。)に係る定款一部変更及び当社による全部取得条項付普通株式(全部取得条項が付された後の当社普通株式をいいます。以下同じです。)の取得について、平成23年2月15日開催予定の臨時株主総会(以下「本臨時株主総会」といいます。)に付議することを決議し、また、全部取得条項に係る定款一部変更について、本臨時株主総会と同日に開催予定の当社普通株式を有する株主を構成員とする種類株主総会(以下「本種類株主総会」といいます。)に付議することを決議いたしました。

本臨時株主総会において定款一部変更及び全部取得条項付普通株式の取得に係る議案が原案どおり承認可決され、本種類株主総会において定款一部変更に係る議案が原案どおり承認可決された場合には、当社普通株式は、JASDAQ市場の上場廃止基準に該当することとなり、平成23年2月15日から平成23年3月15日までの間、整理銘柄に指定された後、平成23年3月16日をもって上場廃止となる予定です。上場廃止後は、当社普通株式をJASDAQ市場において取引することはできません。